

生活科

単元名 「アサガオをそだてよう」
指導時数 10時間扱い

ねらい

- ・アサガオの栽培を通して、植物の生長の変化や不思議さ、美しさ、面白さに気付く。
- ・アサガオの栽培を通して、植物の生長の様子を観察する。
- ・アサガオの世話に積極的に取り組む。

幼稚園・保育所で経験してきたこと

- ・アサガオやヒマワリなどの植物の栽培を経験している児童は多い。
- ・植物の世話をしながら、成長の変化に気付いたり、栽培する楽しさを味わったりしながら、花や葉、実などの特性を生かして、遊びに取り入れたり、絵に描いたりしている。

接続を踏まえた指導の工夫

- ・植物の栽培を経験している児童が多いことを踏まえ、小学校ではただ栽培するだけでなく、科学的な目を養うために、色、形、大きさ、数、手触りなどの視点から観察を行う。

学習活動例

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連 ★幼児教育との関連
1	<p>1 アサガオの種の観察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種の様子を観察し、カードに絵を描く。 (形、色、大きさなどを観察する。) <p>2 種を半分に切って、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種の中の様子を観察し、カードに絵を描く。 	<p>生活 4月～9月</p> <p>★入学前にもアサガオの栽培を経験している児童が多いので、アサガオの種も知っている児童が多いが、種をじっくりと見て、形、色、大きさなどの視点で観察させる。</p> <p>○種の中の様子も観察させ、知的好奇心を喚起させる。</p>
2	<p>1 種を埋める準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植木鉢の底に小石を入れる。 ・植木鉢に土を入れる。 <p>2 種を埋める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～5粒の種を土に埋める。 <p>3 水をやる。</p>	<p>○一人一鉢で、自分の植木鉢でアサガオの栽培をする。</p> <p>○水やりは、常時活動として朝や休み時間、放課後などに行う。水のちょうどいい量は前もって確認しておく。</p>
3	<p>1 双葉の観察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の数、色、形、大きさなどを観察し、カードに絵で描く。 	<p>★基本的には幼児期に体験している表現として絵での表現が中心になるが、文字でも表現できる場合は、簡単な文でも表現させる。</p>
4	<p>1 本葉の観察をする。(本葉が3～4枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の数、色、形、大きさなどを観察し、カードに絵で描く。 ・つるの伸び方を観察する。 	<p>○「前、観察した時と違っている所を探して絵に描こう。」と呼びかけ、双葉と本葉の形や大きさの違いや、つるの伸び方に注目しながら観察することに自分で気付くように配慮する。</p>
5	<p>1 本葉の観察をする。(本葉が10枚ほど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の数、色、形、大きさ、つるの長さなどを観察し、カードに絵で描く。 	<p>☆葉の数は、算数の10までの数の指導と結び付けて、自分の葉の数と友達の葉の数との違いなどを比べさせてもよい。</p> <p>○つるの長さは、他の具体物に置き換えて「だいたい〇〇と同じくらいの長さ」などと表現するとよいことを伝える。</p>

6	<p>1 アサガオ全体の観察をし、文字や絵でカードに記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の数、色、形、大きさ、つるの長さなどを観察する。 ・つぼみの形、色、数、大きさなどを観察する。 ・花の形、色、数、大きさなどを観察する。 	<p>★幼児期に栽培したアサガオと比べてみて、花の色やつるの長さなどで違いがある場合にはカードに違いを書かせると、気付きにつながる。</p> <p>○友達のアサガオと比べてみることで、同じアサガオでも花の色や形に違いがあることに気付かせる。</p> <p>☆平仮名を一通り習い終わっている時期だと思われるので、国語との関連で文字を書く練習としてカードに気付いたことや感想を文字で書くことも意図した活動とする。</p>
7	<p>1 アサガオの花を利用して、色水遊びをする。 (準備) 小さめのペットボトル、プリンカップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花をいくつか摘み、カップの中でつぶす。 ・つぶして出てきた液をペットボトルに入れる。 ・ペットボトルに水を入れ、液を薄めて色水を作る。 <p>2 違う色の色水を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う色の花を使って色水を作る。 ・複数の色の花を使って色水を作る。 ・水の量を変えて色水を作る。 ・違う色の色水を混ぜてみる。 	<p>★幼児期にアサガオを栽培した時に色水遊びをした経験をもつ児童がかなりいるので、色水の作り方を知っている児童から聞き出しながら全体に広めていく。</p> <p>○自分のアサガオの花が少なかったり、せっかく咲いた花を摘むのに抵抗があったりする児童がいることが予想されるので、畑や花壇などに色水遊び用の花を摘むためのアサガオを教員が別に栽培しておくといよい。また、複数の花の色のアサガオを栽培しておくといよい。</p> <p>☆発展として、図工の時間に、濃いめの色水でアサガオの花を描く活動を組んでもよい。</p>
8	<p>1 種の収穫をする。(9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種を収穫する。 <p>2 観察カードに記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶色い殻を破った後の実の様子や、収穫した種を観察カードに記録する。 	<p>☆夏休み中に収穫した種を取っておき、算数の「10より大きな数」で数を数える活動の際に利用するとよい。</p> <p>○実や種の観察は、夏休みの宿題として観察カードに記録させておく。</p>
9 ・ 10	<p>1 アサガオの栽培の活動のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙や、振り返った感想を書く。 ・観察カードをまとめて、アサガオの栽培記録を作る。綴じ紐で綴じたり、蛇腹風につなぎ合わせたりして、カードを一つにまとめる。 <p>2 収穫した種や、残ったつるで何かできないかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種をプレゼントしよう。 来年の1年生、家の人、出身園 など ・つるでリースを作ろう。 	<p>○観察カードをまとめて一つの記録にする活動は、この後の活動でも活用できるので、いろいろな方法を考えさせ、気に入った方法でやらせてみる。</p> <p>★種を誰にプレゼントするかを考えさせる際に、自分の出身園にプレゼントしたいという考えが出てくると、幼・保・小連携の観点から交流活動につなげやすくなるので、積極的に取り上げるとよい。</p>